

## 多摩市職員の考案した「持出王」の出前授業を行います！

持出王とは、80種類以上の物品カードの中から、物品のコストや重さ、特徴を考えて最適な非常用持出袋を作成し、作った持出袋の中身でトラブルを解決する、多摩市職員の考案したオリジナルのゲームです。

この度、持出王の出前授業を実施しますので、ぜひご取材をお願いします。

### 1 持出王とは

(1) **対象** 小学3年生から

(2) **プレイ人数** プレイヤー：3人から5人  
コントローラー：1人

(3) **所要時間** 40分程度

#### (4) ゲームの流れ

- ①プレイヤーは、物品カードの中から避難所にもっていく物品を選ぶ。なお、各物品カードには「重さ」「大きさ」が決められており、制限重量・容量内に収まるように物品カードを選ぶ。
- ②コントローラーはトラブルカードに書かれた、避難所に向かう道中や避難所で発生するイベントを読み上げる。
- ③プレイヤーは、イベントに対して選んだ物品を使って解決策を考える。
- ④コントローラーは、解決策が納得できるものであれば称号カードを渡し、納得できない場合は部分的に物品を選び直させる。
- ⑤全てのトラブルを解決できたプレイヤーが「持出王」となる。

#### (5) ゲームを通して学べること

- ①避難の際にどのような物品を優先して持っていくべきなのかを考えることができる。
- ②限りある物品を工夫してトラブルに対処する方法を学ぶことができる。
- ③会場には実際に3kg・5kg・7kgのバックを置いており、プレイヤーは実際に自分が選んだ物品がどれくらいの重さなのかを体験することができる。

### 2 作成の経緯

持出王（非常用持出袋作成ゲーム）は、令和5年の夏に、親子向け防災イベントを企画した際に考え出したゲームです。

このイベントは3つのテーマから構成されるイベントで、そのうちのテーマの1つを「非常用持出袋の作成を体験できるもの」としていました。

しかしながら、非常用持ち出し袋を楽しく学ぶことができる教材がなかったため、子どもたちを飽きさせることなく、楽しくこのテーマを学んでいただくことが困難な状況でした。

そこで、防災安全課の若手職員が中心となり、夏休みにも関わらず集まってくれた子どもたちが楽しみながら学ぶことができ、かつ自由研究にも使える内容とするため、持出王を考案しました。

### 3 出前授業の概要

(1) 日時 令和6年3月8日(金) 13時35分～14時20分

(2) 場所 豊ヶ丘小学校

(3) 参加者 小学4年生(防災訓練の一環として実施)

※ご取材いただける場合は、3月1日17時までに下記担当までご連絡ください。

<別添資料>・なし

問い合わせ

総務部防災安全課

電話：042(338)6802